岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　災関砂防鯉の浦隣2測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-1	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内			**北緯**	34° 09′ 5.2189″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年 2月 26日 ～ 2019年 3月 2日	**東経**	132° 29′ 51.7702″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 35.99m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	14.00m	**使用機種**	**試錐機**	KR-SH	**エンジン**	NFAD6 MS172EAM	**ポンプ** 丸山

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	N値	標準貫入試験 深度－N値 図	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1 2	33.09	2.90		粘土混り砂	暗褐							(100) (100) (100)		粘土混り砂～粘土質砂。細礫を混入する。下方に従い細礫の量多くなる。表層20cmは粘土をあまり混入していない。	03/01 1.50	4 300 / 5 300	1.15 1.45 / 2.15 2.45				100 / 200		φ66メタル	10.0	80	0.0	W1/0	0
3	32.39	3.60		砂質粘土	暗褐							(100)		砂質粘土～砂混り粘土。細礫を混入。	03/01 4.20	6 300	3.15 3.45			2/26								
4 5	30.39	5.60		砂礫	灰褐							(100) (100)		φ10～50mm角礫主体。基質は砂質粘土。GL-5.5～5.6mにてφ30mm程度の亜円礫および細礫となる。		9 300 / 22 300	4.15 4.45 / 5.15 5.45				100	86/B2		5.0	220	10.0	W2/4	4
6 7	28.09	7.90		礫混り砂	黄褐							(100) (100)		所々にφ5～30mmの角礫を混入。若干粘土分混入するが比較的サラサラした中砂～粗砂主体。亜円礫の細礫を混入する。		12 300 / 13 300	6.15 6.45 / 7.15 7.45			2/27								
8 9 10	25.74	10.25		礫混り砂	灰褐							(100) (100)		花崗岩の風化残積土の二次堆積物。φ10～20mmの角礫を多数混入。花崗岩以外の礫も混入する。		50 180 / 50 160 / 50 100	8.15 8.33 / 9.15 9.31 / 10.15 10.25			2/28			φ66DB					
11 12	23.49	12.50		花崗岩	褐灰	w4		C~D	III~IV	c~d	CL	12 [22] (100) 13 [13] (100) 25 [55] (100)		短柱状～岩片状コア。岩片はハンマーピックで反発する部分と濁音を発する部分がある。亀裂沿いに軟質化し亀裂集中部では礫状となる。亀裂面に黄鉄鉱を認める。		50 10	11.00 11.01				67			10.0	180	0.1	W2/2	2
13	21.99	14.00			褐灰	w3		B~C	II	c	CM	38 [78] (100)		柱状コア主体。亀裂周辺でやや軟質化し礫状となる部分があるが、概ね硬質なコア。ハンマーヘッドで軽音を発する。						3/1 3/2								